

**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

共通ポータルサイトを介して複数の保険会社の保有する各W e bサーバと通信自在に接続されたW e b連携装置であって、

所定の操作入力を行う操作入力部と、

上記共通ポータルサイトと通信を行う通信制御部と、

上記操作入力部の操作により照会を所望とする保険商品の証券番号が特定されると、少なくとも、当該証券番号と、保険会社コード、契約照会プログラムを起動するための情報を自動的に設定したU R Lパラメータを生成し、上記通信制御部を介して上記共通ポータルサイトに送信することで、保険会社の各W e bサーバに対して所望とする契約内容の照会を行わせる照会機能を備えた制御部と、  
を具備することを特徴とするW e b連携装置。 10

**【請求項 2】**

共通ポータルサイトを介して複数の保険会社の保有する各W e bサーバと通信自在に接続されたW e b連携装置であって、

所定の操作入力を行う操作入力部と、

上記共通ポータルサイトと通信を行う通信制御部と、

上記操作入力部の操作により、被保険者の取引番号が入力され、且つ保険商品名及び設計要素を含む情報が特定されると、少なくとも、当該情報と、被保険者の属性情報、保険会社コード、保険会社毎に設計書作成プログラムを起動するための情報を自動的に設定したU R Lパラメータを生成し、上記通信制御部を介して、作成する設計書の数だけ上記共通ポータルサイトに送信することで、複数の保険会社の各W e bサーバに対して保険設計書の作成を依頼するマルチ設計書作成機能を備えた制御部と、  
を具備することを特徴とするW e b連携装置。 20

**【請求項 3】**

上記制御部は、上記マルチ設計書作成機能に基づき、保険内容に相当する設計要素の入力を促し、当該入力された設計要素の情報より各保険商品の設計書作成に必要な情報を自動的に抽出し、上記U R Lパラメータに設定する、ことを更に特徴とする請求項 2 に記載のW e b連携装置。 30

**【請求項 4】**

共通ポータルサイトを介して複数の保険会社の保有する各W e bサーバと通信自在に接続されたW e b連携装置の制御部が、操作入力部の操作により照会を所望とする保険商品の証券番号が特定されると、少なくとも、当該証券番号と、保険会社コード、契約照会プログラムを起動するための情報を自動的に設定したU R Lパラメータを生成し、通信制御部を介して上記共通ポータルサイトに送信することで、保険会社の各W e bサーバに対して所望とする契約内容の照会を行わせる照会機能を実行するためのW e b連携プログラム。 30

**【請求項 5】**

共通ポータルサイトを介して複数の保険会社の保有する各W e bサーバと通信自在に接続されたW e b連携装置の制御部が、操作入力部の操作により、被保険者の取引番号が入力され、且つ保険商品名及び設計要素を含む情報が特定されると、少なくとも、当該情報と、被保険者の属性情報、保険会社コード、保険会社毎に設計書作成プログラムを起動するための情報を自動的に設定したU R Lパラメータを生成し、通信制御部を介して、作成する設計書の数だけ上記共通ポータルサイトに送信することで、複数の保険会社の各W e bサーバに対して保険設計書の作成を依頼するマルチ設計書作成機能を実行するためのW e b連携プログラム。 40

**【請求項 6】**

上記制御部が、上記マルチ設計書作成機能に基づき、保険内容に相当する設計要素の入力を促し、当該入力された設計要素の情報より各保険商品の設計書作成に必要な情報を自動的に抽出し、上記U R Lパラメータに設定することを更に特徴とするための請求項 5 に 50

記載の Web 連携プログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、Web 連携装置及び Web 連携プログラムに関する。

【背景技術】

【0002】

従来、保険代理店等から保険会社の Web サイトにアクセスして、保険の契約内容を照会したり、保険設計書の作成を依頼したりすることが一般的に可能となっている。

【0003】

例えば、保険契約の内容を照会する場合、保険代理店と保険会社間のアクセスを管理するセンターである共通ポータルサイトにログインした後、照会したい保険契約者が加入している保険会社の Web サイトを選択し、保険会社の Web サイトにて保険契約の照会画面を選択し当該画面を表示した後、照会を所望とする保険契約の証券番号を入力する、という一連の操作が必要とされている。

【0004】

また、保険設計書の作成を依頼する場合には、共通ポータルサイトにログインした後、被保険者の属性情報（名前や年齢、住所等）と保険設計書の作成に必要な情報（保険金額や保険料等）を保険商品単位に入力する必要がある。より具体的には、作成したい保険商品を販売する保険会社を選択し、該当の保険商品を選択し、設計書作成プログラム起動後、被保険者の属性情報や保険金額、保険料等を入力し、設計書を印字する、という作業を、設計を所望とする保険商品の種類分だけ繰り返す必要がある。

【0005】

一方、特許文献 1 では、複数の金融機関や保険会社とオンライン照会・取引を行う場合に複数のホームページ閲覧ソフトを起動することなく、1つのホームページ閲覧ソフトを用いて1つの画面で各機関や会社にアクセス可能とする技術が開示されている。

【特許文献 1】特開 2002-203107 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

しかしながら、上記従来技術により保険契約の内容を照会する場合には、各保険会社の Web サイトに個別にアクセスし、その都度、照会を所望とする保険会社、保険商品の選択を繰り返し入力する必要があるなど、煩雑な作業が必要とされていた。

【0007】

また、上記従来技術により保険設計書の作成を依頼する場合には、所望とする保険商品を個別に選択し、その都度、被保険者の属性情報等の情報を入力する必要があるなど、やはり煩雑な作業が必要とされていた。

【0008】

一方、特許文献 1 に開示された技術では、一の画面において保険会社の画面と銀行の画面を同時に表示できるものの、それぞれに対して個別に顧客 ID や暗証番号等を入力して個別の認証を経なければならず、また、複数の保険会社に対して保険契約の内容を照会する場合や保険設計書の作成を依頼する場合に保険契約の保険会社、保険商品、被保険者の属性情報等の煩雑な操作入力作業の繰り返しを無くすることはできない。

【0009】

本発明の目的とするところは、一の操作入力に基づき URL パラメータを自動生成し送信することで、煩雑な操作入力作業の繰り返しを無くし、保険会社の保険契約内容の照会や所望とする複数の保険商品の保険設計書作成の依頼等を可能とすることにある。

【課題を解決するための手段】

【0010】

上記目的を達成すべく、本発明の第 1 の態様では、共通ポータルサイトを介して複数の

10

20

30

40

50

保険会社の保有する各W e bサーバと通信自在に接続されたW e b連携装置であって、所定の操作入力を行う操作入力部と、上記共通ポータルサイトと通信を行う通信制御部と、上記操作入力部の操作により照会を所望とする保険商品の証券番号が特定されると、少なくとも、当該証券番号と、保険会社コード、契約照会プログラムを起動するための情報を自動的に設定したU R Lパラメータを生成し、上記通信制御部を介して上記共通ポータルサイトに送信することで、保険会社の各W e bサーバに対して所望とする契約内容の照会を行わせる照会機能を備えた制御部と、を具備することを特徴とするW e b連携装置が提供される。

**【0011】**

本発明の第2の態様では、共通ポータルサイトを介して複数の保険会社の保有する各W e bサーバと通信自在に接続されたW e b連携装置であって、所定の操作入力を行う操作入力部と、上記共通ポータルサイトと通信を行う通信制御部と、上記操作入力部の操作により、被保険者の取引番号が入力され、且つ保険商品名及び設計要素を含む情報が特定されると、少なくとも、当該情報と、被保険者の属性情報、保険会社コード、保険会社毎に設計書作成プログラムを起動するための情報を自動的に設定したU R Lパラメータを生成し、上記通信制御部を介して、作成する設計書の数だけ上記共通ポータルサイトに送信することで、複数の保険会社の各W e bサーバに対して保険設計書の作成を依頼するマルチ設計書作成機能を備えた制御部と、を具備することを特徴とするW e b連携装置が提供される。

10

**【0012】**

本発明の第3の態様では、上記第2の態様において、上記制御部は、上記マルチ設計書作成機能に基づき、保険内容に相当する設計要素の入力を促し、当該入力された設計要素の情報より各保険商品の設計書作成に必要な情報を自動的に抽出し、上記U R Lパラメータに設定する、ことを更に特徴とするW e b連携装置が提供される。

20

**【0013】**

本発明の第4の態様では、共通ポータルサイトを介して複数の保険会社の保有する各W e bサーバと通信自在に接続されたW e b連携装置の制御部が、操作入力部の操作により照会を所望とする保険商品の証券番号が特定されると、少なくとも、当該証券番号と、保険会社コード、契約照会プログラムを起動するための情報を自動的に設定したU R Lパラメータを生成し、通信制御部を介して上記共通ポータルサイトに送信することで、保険会社の各W e bサーバに対して所望とする契約内容の照会を行わせる照会機能を実行するためのW e b連携プログラムが提供される。

30

**【0014】**

本発明の第5の態様では、共通ポータルサイトを介して複数の保険会社の保有する各W e bサーバと通信自在に接続されたW e b連携装置の制御部が、操作入力部の操作により、被保険者の取引番号が入力され、且つ保険商品名及び設計要素を含む情報が特定されると、少なくとも、当該情報と、被保険者の属性情報、保険会社コード、保険会社毎に設計書作成プログラムを起動するための情報を自動的に設定したU R Lパラメータを生成し、通信制御部を介して、作成する設計書の数だけ上記共通ポータルサイトに送信することで、複数の保険会社の各W e bサーバに対して保険設計書の作成を依頼するマルチ設計書作成機能を実行するためのW e b連携プログラムが提供される。

40

**【0015】**

本発明の第6の態様では、上記第5の態様において、上記制御部が、上記マルチ設計書作成機能に基づき、保険内容に相当する設計要素の入力を促し、当該入力された設計要素の情報より各保険商品の設計書作成に必要な情報を自動的に抽出し、上記U R Lパラメータに設定することを更に特徴とするための請求項5に記載のW e b連携プログラムが提供される。

**【発明の効果】****【0016】**

本発明によれば、一の操作入力に基づきU R Lパラメータを自動生成し、送信すること

50

で、煩雑な操作入力作業の繰り返しを無くして、保険会社の保険契約内容の照会や所望とする複数の保険商品の保険設計書作成の依頼を行うことを可能とするWeb連携装置及びWeb連携プログラムを提供することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0017】

以下、添付図面を参照して、本発明の実施の形態について説明する。

【0018】

先ず、本発明の第1の実施の形態について説明する。

【0019】

尚、ここでは、Web連携装置1が銀行のイントラネットに配設されている例を示して説明するが、これに限定されず保険代理店等、様々な場所に配設可能である。

【0020】

図1には、本発明の第1の実施の形態に係るWeb連携装置1の構成を示し説明する。

【0021】

このWeb連携装置1は、一の操作入力により、銀行のイントラネットから、例えば共通ポータルサイト2経由で、各保険会社のWebサーバ3にアクセスし、特定保険契約の契約内容を直接的に照会することを可能とするものである。

【0022】

この図1に示されるように、銀行イントラネット内にはWeb連携装置1が配設されている。このWeb連携装置1は、通信網4を介して共通ポータルサイト2と通信自在に接続されている。更に、この共通ポータルサイト2は、通信網5を介して各保険会社のバックエンドのWebサーバ3と通信自在に接続されている。この例では、保険会社AのWebサーバ31、保険会社BのWebサーバ32、保険会社CのWebサーバ33が図示されているが、これらに限定されるものではない。以下の説明において、Webサーバ31、32、33を総称する場合には、符号3を用いることにする。

【0023】

共通ポータルサイト2は、リバースプロキシ2aと認証モジュール2b及び認証DB2cを有している。リバースプロキシ2aは、各保険会社のWebサーバ3の代理として、そのサーバへの要求を中継するプロキシサーバである。Webサーバ3にアクセスする場合には、全てリバースプロキシ2aを経由することになるため、Webサーバ3がWeb連携装置1から直接アクセスを受けることはなくなる。このリバースプロキシ2aは、中継時にパケットの内容やURLパラメータをスキャンする機能を有している。認証モジュール2bは、上記リバースプロキシ2aでスキャンされたパケットの内容を認証DB2cに蓄積している情報とマッチングして、ユーザの認証を行うものである。

【0024】

保険会社AのWebサーバ31は、保険アプリ起動リダイレクタ31aと保険会社A用アダプタ31bを有しており、Web連携装置1からのURLパラメータを受けて、契約照会プログラム31c、設計書作成プログラム31dのいずれかを実行する。保険会社BのWebサーバ32は、保険アプリ起動リダイレクタ32aと保険会社B用アダプタ32bを有しており、Web連携装置1からのURLパラメータを受けて、契約照会プログラム32c、設計書作成プログラム31dのいずれかを実行する。保険会社CのWebサーバ33は、保険アプリ起動リダイレクタ33aと保険会社C用アダプタ33bを有しており、Web連携装置1からのURLパラメータを受けて、契約照会プログラム33c、設計書作成プログラム33dのいずれかを実行する。

【0025】

これら保険アプリ起動リダイレクタ31a、32a、33aは、上位のアプリケーション（例えば、契約照会プログラム31c、設計書作成プログラム31d等）が異なるデバイスであることを意識することなく所定の入出力を行えるようにするためのモジュールであり、必要に応じて起動するアプリケーションを切り換える役割を担っている。例えば保険会社A用アダプタ31b等は、その切り換えをサポートするための論理的な機能を備え

た拡張ボードである。

【0026】

銀行イントラネット内のWeb連携装置1は、保険会社A、B、C…側のWebサーバ31、32、33…に実装されている各アプリケーション（例えば、契約照会プログラム31cや、設計書作成プログラム31d等）を起動させるためのパラメータ、及び指定された契約を検索するキー項目に係るパラメータ（例えば、証券番号）をURLパラメータに盛り込み、当該URLパラメータを共通ポータルサイト2経由で各保険会社A、B、C…側の各Webサーバ31、32、33…に送信する。

【0027】

このURLパラメータの一例は、以下に示す通りである。

10

【0028】

URL : http://www.aaaa.net /bbbb/dd/xxxx/yyyy

ここで、「bbbb」は共通ポータルサイト（シングルサインオンサーバ）2を特定するものである。「xxxx」には「保険会社コード」が設定される。「cccc」は本実施の形態に係るWeb連携装置1であることを表す固定値であり、それに続くパラメータが起動を促すプログラムに関する情報（起動を促すプログラム名、あるいは当該プログラム名及び当該プログラムが必要とする情報）を含んでいることを示すものである。「yyyy」には「起動を促すプログラムに関する情報」が設定される。

【0029】

より詳細は、この「起動を促すプログラムに関する情報」には、例えば、

20

設計書の作成 : ShinSakusei

契約の参照 : KeiyakuSansho

が設定されることになる。

【0030】

尚、「設計書の作成」の場合には設計書作成プログラム、「契約の参照」の場合には契約照会プログラムが保険アプリ起動リダイレクタにより起動される。

【0031】

各業務に対応した引渡しパラメータとしては、

設計書の作成 : ShinSakusei（図8参照）

契約の参照 : KeiyakuSansho（証券番号）

30

が、Web連携装置1から共通ポータルサイト2へと引き渡される。

【0032】

例えば、保険会社Aの契約の参照を行う場合には、URLパラメータは、

http://www.aaaa.net/bbbb/dd/保険会社Aコード/cccc/KeiyakuSansho

となり、引渡しパラメータとして証券番号（ShokenNo）が引き渡される。

【0033】

このパラメータの引渡しには、例えばpostが用いられる。これは、一般には、WWWブラウザからWebサーバにデータを送る方法の一つである。引渡しパラメータが冗長になりWeb連携プログラムが誤動作を起こすような事態を防止できる。

【0034】

40

ここで、図2には上記Web連携装置1の詳細な構成を示し説明する。

【0035】

この図2に示されるように、Web連携装置1は、通信制御部11と制御部12、Web連携プログラム13、設計要素保有データベース（以下、DBと略記する）14、顧客属性DB15、操作入力部16、表示部17、保険会社DB18、保険契約DB19を有している。このような構成において、制御部12は、Web連携プログラム13の照会機能13aとマルチ設計書作成機能13bとに基づいて、契約の照会や設計書の作成依頼を実行する。その場合、設計要素保有DB14や顧客属性DB15、保険会社DB18、保険契約DB19が適宜参照され、前述したようなURLパラメータが生成され、通信制御部11、通信網4を介して共通ポータルサイト2側に送信される。契約の照会、或いは設

50

計書の作成依頼については、操作者が、表示部 17 に表示された各種画面を参照して、マウスやキーボードといった操作入力部 16 を操作することで、所望とする業務を選択する。

#### 【0036】

設計要素保有 DB 14 が保有している設計要素テーブルの一例は、図 3 (a) に示される通りであり、保険商品名（医療、終身、定期等）と設計要素（保険金、入院日額、手術給付金、保険料払込期間等）の情報が対応付けられている。例えば、保険商品名「医療保険 1」については、設計要素として「保険金、入院日額」の情報が対応付けられている。

一方、上記顧客属性 DB 15 が保有している顧客属性テーブルの一例は図 3 (b) に示される通りであり、取引番号と顧客の氏名、年齢、性別等の属性情報が対応付けられている。これらの他、不図示ではあるが、保険会社 DB 18 では、保険会社コードと保険会社名、取り扱いしている保険商品名、起動を促すプログラムに関する情報（契約照会プログラム情報、設計書作成プログラム情報）等が対応付けられて格納されている。さらに、保険契約 DB 19 では、不図示ではあるが、被保険者から契約を受付ける際に受付番号を採番し、当該受付番号と被保険者の取引番号を紐付けて格納しておき、契約成立後、保険会社から受領する保険契約の情報（当該受付番号および証券番号・保険会社コード等）が当該受付番号に基づいて被保険者の取引番号と対応付けられて格納されている。すなわち、この保険契約 DB 19 には、保険契約の情報（受付番号、証券番号、保険会社コード等）が、例えばバッチ処理で各保険会社から送られ、受付番号に基づいて被保険者の取引番号を特定し、これら情報を随時格納し、更新されるようになっている。

#### 【0037】

尚、上記 DB 14, 18 等で管理されている保険商品名とは、画面上は「商品名」として形式化されるが、実際に管理されているのは「保険商品コード」である。

#### 【0038】

以下、図 4 のフローチャートを参照して、本発明の第 1 の実施の形態に係る Web 連携装置 1 による一連の動作を詳細に説明する。

#### 【0039】

尚、本動作の前提事項として、Web 連携装置 1 は、共通ポータルサイト 2 の認証モジュール 2b による認証を経なければならない。ログインであるならば、Web 連携装置 1 の表示部 17 の表示画面上に共通ポータルサイトログイン画面が表示され、ID、パスワードが入力されると、共通ポータルサイトメニュー画面が表示され、ログイン完了となる。ログイン後は、共通ポータルサイトメニューを経由せずに各保険会社 31, 32, 33... の保険アプリリダイレクタ 31a, 32a, 33a... 等を呼び出せる状態となる。

#### 【0040】

銀行のイントラネット内の Web 連携装置 1 の Web 連携プログラム 13 が実行されて照会を所望とする保険商品の証券番号が操作入力部 16 の操作により入力されるか、或いは表示部 17 の表示画面上に表示された証券番号から照会を所望とする保険商品の証券番号がクリックされると（ステップ S1）、制御部 12 は、当該証券番号に基づき、保険契約 DB 19 から抽出された保険会社コード、保険商品名、抽出された保険会社コードに基づいて保険会社 DB 18 から抽出された該当する保険会社の契約内容照会用プログラム情報等を自動的に設定した URL パラメータを生成し、通信制御部 11 と通信網 4 を介して共通ポータルサイト 2 宛に送信する（ステップ S2）。

#### 【0041】

共通ポータルサイト 2 は、この URL パラメータを受信すると、その中に含まれる保険会社コードをキーとして保険会社を特定し、当該保険会社の Web サーバ 3 にパラメータを転送する（ステップ S3）。各保険会社の Web サーバ 3 は、この URL パラメータを受信すると、契約内容照会用プログラム情報で指定した証券番号をパラメータとして与えた契約照会プログラムを起動させ（ステップ S4）、起動後の画面イメージを共通ポータルサイト 2 経由で銀行の Web 連携装置 1 に送信する（ステップ S5）。

## 【0042】

銀行のWeb連携装置1は、この画面イメージを受信すると、制御部12が表示部17に当該画面を表示し（ステップS6）、こうして一連の動作を終了する。

## 【0043】

従来技術では、図5（a）に示されるように、銀行の情報処理装置でWebブラウザを起動して、共通ポータルサイトにログインし、メニュー画面を表示し、保険会社のメニュー画面、契約照会メニュー画面と画面を遷移させ、契約照会、契約特定を選択した場合に はじめて一の保険会社の契約照会詳細画面が情報処理装置側に表示されていた。これに対して、図5（b）に示されるように、本発明の第1の実施の形態に係るWeb連携装置1では、銀行のWeb連携装置1のWeb連携プログラム13を起動した後、共通ポータル 10  
サイト2にログインした後は、一度証券番号が特定済みであれば、複数の画面選択をすることなく、保険会社の詳細画面を表示することが可能となる。

## 【0044】

以上説明したように、本発明の第1の実施の形態に係るWeb連携装置及びWeb連携プログラムでは、銀行内のイントラネット内のWeb連携装置1から特定の保険契約（証券番号）を入力すると、操作者が保険会社や保険会社の照会画面を意識することなく、また、該当の保険内容にアクセスするために従来必要とされた複数のページ選択（例えば保険会社選択→保険契約照会画面選択→保険証券番号入力）をすることなく、該当する保険会社のシステムに保管されている契約内容がダイレクトに表示される。従って、操作者の 20  
操作負担が従来に比して軽減されることになる。

## 【0045】

（第2の実施の形態）

次に本発明の第2の実施の形態について説明する。

## 【0046】

この第2の実施の形態に係るWeb連携装置及びプログラムは、複数の保険会社に対して保険設計書の作成を依頼する場合に、何度も同じ情報を入力することなく、一度の操作 30  
入力により、複数の保険設計書の作成依頼を行うことを可能とするものである。尚、その基本構成は、前述した第1の実施の形態（図1乃至図3）と同様であるので、ここでは重複した説明は省略し、同一構成については同一符号を用いて説明する。

## 【0047】

この第2の実施の形態では、銀行が保有している顧客データ（顧客属性DB15の顧客属性情報）を活用して、設計書作成プログラム31e、32d、33dを起動することで銀行の顧客属性情報のエントリに係る負担を軽減するものである。

## 【0048】

保険設計書の作成を依頼する場合、URLパラメータは、

<http://www.aaaa.net/bbbb/dd/> 保険会社コード/cccc/ShinSakusei

となり、制御部12により、引渡しパラメータとして、例えば、図8に示されるような顧客姓、顧客名、生年月日、性別、電話番号が顧客属性DB15の顧客属性テーブルを参照して設定され、商品コード、設計要素1、2、3、4…が設計要素保有DB14の設計要素保有テーブルを参照して設定され、共通ポータルサイト2へと引き渡される。 40

## 【0049】

以下、図6のフローチャートを参照して、本発明の第2の実施の形態に係るWeb連携システムによる一連の動作を詳細に説明する。

## 【0050】

本動作の前提事項として、Web連携装置1は、共通ポータルサイト2の認証モジュール2bによる認証を経なければならない。未ログインであるならば、Web連携装置1の表示部17の表示画面上に共通ポータルサイトログイン画面が表示され、ID、パスワードが入力されると、共通ポータルサイトメニュー画面が表示され、ログイン完了となる。ログイン後は、共通ポータルサイトメニューを経由せずに各保険会社Webサーバ31、32、33…の保険アプリリダイレクタ31a、32a、33a…等と呼び出せる状態と 50



なる。

【0051】

銀行のイントラネット内のWeb連携装置1のWeb連携プログラム13が実行された後、操作入力部16の操作等により少なくとも被保険者に該当する取引番号、設計書作成依頼を行う保険商品名、設計要素（保険金、入院口額、手術給付金、保険料払い込み期間等）を含む情報が入力されると（ステップS11）、制御部12は、これら情報と、保険会社コード、顧客属性DB15で保有している被保険者の属性情報、保険会社コードに基づき保険会社DB18から抽出された各保険会社のWebサーバ31, 32, 33…の設計書作成プログラム起動するための情報を自動的に設定したURLパラメータを生成し、作成する設計書の数だけ、通信制御部11と通信網4を介して共通ポータルサイト2宛に送信する（ステップS12）。 10

【0052】

より詳細には、被保険者に該当する取引番号が入力されると、図7（a）に示されるような所定の入力画面が表示部17に表示される。

【0053】

当該画面の入力エリアにて、保険商品名が入力或いは予め表示された保険商品名より設計書作成を所望とする商品名が選択された後、「商品名特定完了ボタン」がクリックされると、図3（a）に示されるような設計要素保有DB14が参照され、選択された保険商品名に対応する設計要素が抽出され、それらの入力エリアが表示され、操作者に対して操作入力が促される。例えば、医療保険1、医療保険2、定期保険1が入力或いは選択された場合には、設計要素として保険金、入院日額、手術給付金、保険料払込期間の入力が必要となるが、そのための入力エリアa～dが図7（a）のように表示される。 20

【0054】

各エリアa～dに操作入力部16を介して入力となされ、「設計要素入力完了ボタン」がクリックされると、制御部12は、Web連携プログラム13のマルチ設計書作成機能13bに基づき、各保険商品名に対応する保険会社コード、設計要素を自動的に抽出して図7（b）乃至（d）に示されるようなURLパラメータを自動的に生成する。

【0055】

即ち、「医療保険1」については、図7（b）に示されるように、保険会社AコードとWeb連携装置1であることを示す固定値cccc、設計要素である保険金（入力エリアaより自動抽出）、入院日額（入力エリアbより自動抽出）を組み込んだURLパラメータを自動生成し送信する。「医療保険2」については、図7（c）に示されるように、保険会社BコードとWeb連携装置1であることを示す固定値cccc、設計要素である保険金（入力エリアaより自動抽出）、入院口額（入力エリアbより自動抽出）、手術給付金（入力エリアcより自動抽出）を組み込んだURLパラメータを自動生成し送信する。さらに、「定期保険1」については、図7（d）に示されるように、保険会社CコードとWeb連携装置1であることを示す固定値cccc、設計要素である保険金（入力エリアaより自動抽出）、保険期間（入力エリアdより自動抽出）、保険料払込期間（入力エリアcより自動抽出）を組み込んだURLパラメータを自動生成し送信することになる。 30

【0056】

尚、この入力エリアa～dから自動的に抽出し組み込んだ部分が前述したURLパラメータのShinsakusei部分に相当する。 40

【0057】

共通ポータルサイト2は、このURLパラメータを受信すると、その中に含まれる保険会社コードをキーとして保険会社を特定し、当該保険会社のWebサーバ3にパラメータを転送する（ステップS13）。 40

【0058】

各保険会社のWebサーバ3は、このURLパラメータを受信すると、設計書作成プログラム情報で指定した保険設定に必要な情報をパラメータとして与えた設計書作成プログラムを起動させ（ステップS14）、起動後の画面イメージを共通ポータルサイト2経由 50

で銀行のW e b 連携装置 1 に送信する（ステップ S 1 5）。

【0059】

銀行のW e b 連携装置 1 は、この画面イメージを受信すると、制御部 1 2 が表示部 1 7 に当該画面を表示し（ステップ S 1 6）、こうして一連の動作を終了する。

【0060】

尚、複数の保険会社に対して、保険設計書作成依頼を行っている場合には、上記画面イメージは、各保険会社のW e b サーバ 3 からパラレルに送信され、制御部 1 2 はマルチウィンドウで、あるいは表示待ち状態（例えば、タスクバー上に最小化され別画面の存在を示唆）で順次各画面イメージに基づく画面を表示部 1 7 に表示する。

【0061】

しかるに、図 9（a）に示されるように、従来技術では、銀行の情報処理装置でW e b ブラウザを起動して、共通ポータルサイトにログインし、メニュー画面を表示し、保険会社のメニュー画面に遷移させ、設計書作成を選択した場合にはじめて一の保険会社の設計書の作成依頼が成立していた。つまり、複数の保険会社の複数の保険商品について保険設計書の作成依頼をする場合、同種の操作を繰り返さなければならなかった。

【0062】

これに対して、図 9（b）に示されるように、本発明の第 2 の実施の形態に係るW e b 連携装置 1 では、銀行のW e b 連携装置のW e b 連携プログラムを起動した後、共通ポータルサイトにログインした後は、都度顧客属性情報の入力操作を行うことなく、また、保険設計書作成を依頼する保険商品の数だけ設計要素を入力操作することなく、複数の保険

【0063】

以上説明したように、本発明の第 2 の実施の形態に係るW e b 連携装置及びW e b 連携プログラムによれば、複数の保険会社の保険設計を依頼する場合に、銀行が保有している顧客属性情報を利用することで、保険会社毎に被保険者の名前、年齢や住所を入力することなく、かつ保険設計に必要な保険金額や保険料を何度も入力することなく、一度に複数保険商品の設計書の作成依頼を行うことができる。

【0064】

（総括）

以上詳述したように、本発明の上記実施の形態によれば、保険代理店や銀行等から共通ポータルサイト経由で各保険会社のW e b サイトにアクセスして特定保険契約の契約内容をダイレクトに照会したり、複数保険会社の保険設計書を設計する場合に、何度も同じ情報を入力することなく一度に複数の保険設計書の作成依頼を行ったりすることを可能とするW e b 連携装置及びW e b 連携プログラムを提供することができる。

【0065】

尚、本発明は上記実施の形態に限定されることなく、その趣旨を逸脱しない範囲で種々の改良・変更が可能であることは勿論である。例えば、上記実施の形態では、契約内容の照会、保険設計書の作成依頼だけを取り上げたが、これに限定されず、種々の操作を保険会社側のW e b サーバに実行されることが可能である。

【0066】

さらに、U R L パラメータに、複数の保険会社のW e b サーバに対して契約内容の照会の優先度、或いは保険設計書の作成を依頼する優先度に係るパラメータを更に盛り込むことで、W e b 連携装置側で受信、表示する順番を規定することも可能である。

【0067】

この他、本発明のW e b 連携装置によるデータの抽出方法や格納方法は、第 1 及び第 2 の実施の形態として開示した内容に限定されないことは勿論である。

【図面の簡単な説明】

【0068】

【図 1】本発明の第 1 の実施の形態に係るW e b 連携装置及びW e b 連携システムの構成を示す図である。

10

20

30

40

50



图 4

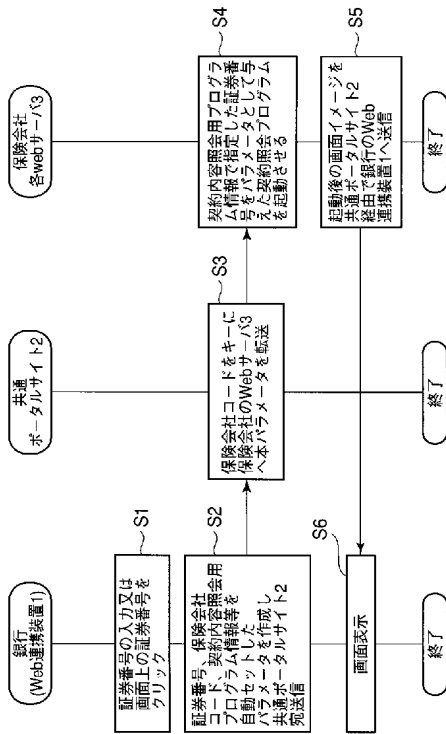


图 6

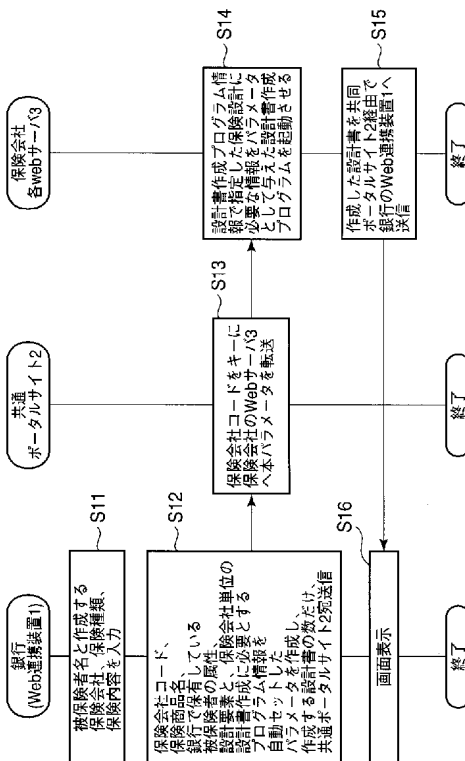


図 5

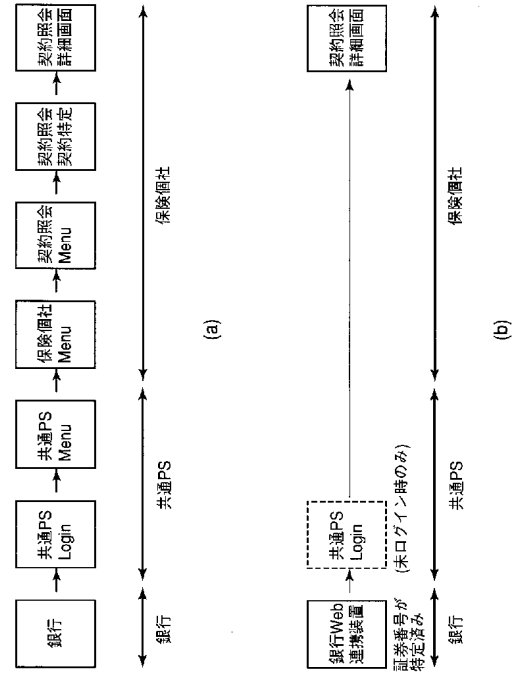
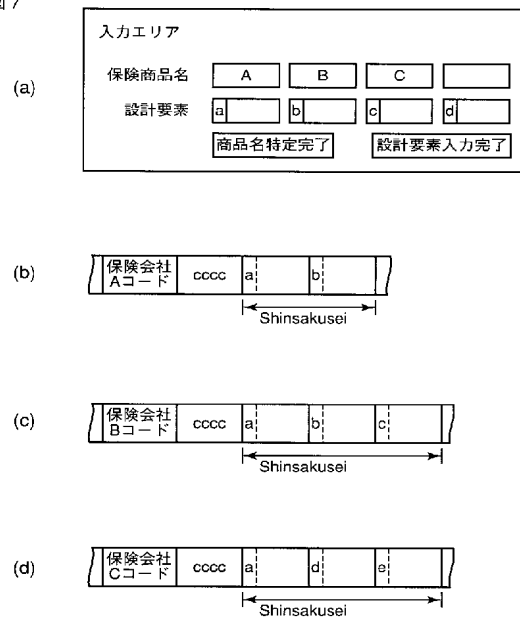


图 7



【図 8】

図 8

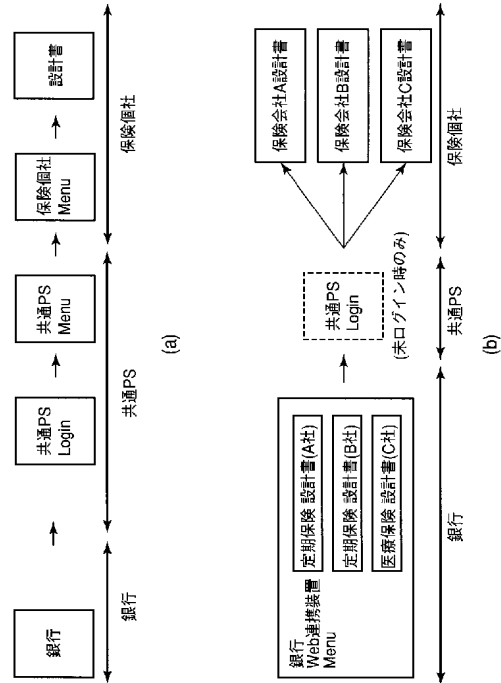
パラメータ名簿	説明
LastName	顧客姓
FirstName	顧客名
Birthday	生年月日
Sex	性別
TelNo	電話番号
.....	.....
Commodity	商品コード
Param1	設計要素1
Param2	設計要素2
Param3	設計要素3
Param4	設計要素4
.....	.....

顧客属性  
DB15からセット

設計要素保有  
DB14からセット

【図 9】

図 9



---

フロントページの続き

- (74)代理人 100084618  
弁理士 村松 貞男
- (74)代理人 100092196  
弁理士 橋本 良郎
- (72)発明者 坂東 完雄  
東京都千代田区丸の内一丁目三番二号 株式会社三井住友銀行内
- (72)発明者 加藤 慶  
東京都千代田区丸の内一丁目三番二号 株式会社三井住友銀行内
- (72)発明者 杉本 健  
東京都千代田区丸の内一丁目三番二号 株式会社三井住友銀行内

**PAT-NO:** JP02007065882A  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 2007065882 A  
**TITLE:** WEB LINKAGE SYSTEM AND WEB  
LINKAGE PROGRAM  
**PUBN-DATE:** March 15, 2007

**INVENTOR-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
BANDO, SADAO	N/A
KATO, KEI	N/A
SUGIMOTO, TAKESHI	N/A

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
SUMITOMO MITSUI BANKING CORP	N/A

**APPL-NO:** JP2005249807  
**APPL-DATE:** August 30, 2005

**INT-CL-ISSUED:**

TYPE	IPC	DATE	IPC-OLD
IPCP	G06Q40/00	20060101	G06Q040/00
IPFC	G06Q10/00	20060101	G06Q010/00
IPFC	G06F13/00	20060101	G06F013/00

## **ABSTRACT:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To automatically generate a URL parameter by one operation input to allow inquiry of contents of a plurality contracts or a request for insurance design document preparation of a plurality of insurance products.

SOLUTION: When a certificate number of the insurance product desired with the inquiry is specified, this Web linkage system generates the URL parameter automatically set with at least the certificate number, an insurance company code, and information for starting a contract inquiry program, and transmits it to a Web server 3 via a common portal site to make each the Web server 3 of a plurality of insurance companies execute the contract inquiry program and to make each the Web server 3 inquire the desired contract contents.

COPYRIGHT: (C) 2007, JPO&INPIT